

# 新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員

## 安藤はるみの



### 核の傘

どじてお返し  
しましようよ  
(はるみのワクワク川柳)



### ぼっとタイム



国連会議

先日インターネット中継で志位委員長の「核兵器禁止条約の国連会議」報告を聞きました。115カ国が参加した「国連会議」についてエレイン・ホワイト議長は、「核兵器の非人道性が、国際社会の共通認識になった、にもかかわらず一握りの核保有大国が核兵器廃絶に背を向けている」ならば、国連と市民社会が、核兵器禁止条約において一步を踏み出そうという二つの要素が重なって生み出された」と語ったとのこと。素晴らしいですね。

「国連会議」の初日、米国を始め20カ国程の国連大使が「核兵器禁止条約反対」を議場外で叫んでいたそうですが、志位さんは「まさに危機感と焦燥感のあらわれ」と評しました。「今回主導的な役割を發揮した国々のなかでもオーストラリア、コスタリカ、アイルランドなど『小さな国』が『大きな存在感』を發揮していた」と述べました。日本政府はどうだったかというと、「会議には冒頭だけ出席し、核兵器禁止条約の『交渉には参加しない』と表明し、帰っていき、多くの参加国、参加者の批判を招いた」とのこと。

日本共産党代表団は、「核軍縮・不拡散議員連盟」の一員として会議に参加し、たくさんの方の支援で、この連盟からの演説枠で発言が出来たのだそうです。演説や発音のサポートまで受けて。そして志位さんの演説に対して「被爆国日本から、今、始まった核兵器禁止条約のプロセスにとって励ましを受けた良い発言だった」「日本政府の欠席と見事な対比を示している」と感想が寄せられたそうです。

「7月7日には条約を採択」と議長が決意を述べ、休会が宣言されたとのこと。心が躍ります。

## 安藤はるみ活動日誌

- 3月18日 三大小学校卒業式
- 19日 女性後援会で戦争法廃止19日行動(写真左)
- 28日 憲法9条つがる女性の会で「憲法学習会」
- 28日 弘前商工会議所と弘前選出県議との意見交換会
- 4月2日 岩木山を考える会総会
- 8日 八戸市選出松田県議会報告会ゲスト参加(写真)



商工労働観光エネルギー委員会  
員会で質問  
(3月17日)

●六ヶ所「量子科学センター」真に求められている施設なのか  
ITER支援室長

「原子力を含む幅広い量子科学分野の人材育成、研究開発の拠点としていく。整備にあたっては、東北大学、弘前大学、八戸工業大学、などの大学、量子科学技術研究開発機構、日本原子力研究開発機構などの研究機関、電気事業者等の原子力関連企業と連携しながら人材育成研究開発活動や施設設備の内容について協議検討を進めてきた」と答弁。

安藤は、研究者の「中途半端な施設の印象をもつ。六ヶ所までその装置を使いに行くだろうか」などの声を紹介しながら、条例で決められた使用料が1時間5550円〜19万8300円、PET/CT室1日22万8710円など高

くこれで十分な研究が出来るのかと質しました。

●LED信号灯 着雪・凍結対策に向けた製品化への支援について  
新産業創造課長

「これまで警察本部を中心とした取組を通じ、製品化に向けた企業における開発経費の負担増が課題となってきたことから、平成29年度青森県産業技術センター工業総合研究所と連携する県内中小企業者3件に対し補助上限150万円を助成する。2年間を目途に製品化が図られるよう警察本部などと連携していく」と答弁。冬も安全な信号を期待します。

## 雪解けの大地に



輝く命

●台湾からの冬季のスキー客について  
誘客交流課長

「台湾からの国際チャーター便は、平成29年1月18日から約1カ月の間中華航空17便運航され、乗客1145名のうち1000名がスキーツアーや北東北周遊観光ツアーに参加し、スキーツアーは



鱒ヶ沢、八甲田でスキーを楽しんだ。台湾は雪が降らないが約2万人のスキーヤーがおり、ファミリーで楽しむ方が多い」と答弁。大鰐などもぜひ紹介をと要望しました。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。 ■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。 3月の相談対応8件。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021  
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

3月のホームページアクセス数  
30,115件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/